

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	リハビリテーション論 Rehabilitation	担当教員	笠原 岳人		
領域水準コード	単位数	2	履修方法	選択必修	授業の方法
講義					
授業の概要					
リハビリテーションの知識や技術をテーマに基づいて解説し、実際の関わりについて事例等を交えながら解説する。					
授業の一般目標					
リハビリテーションに関する基礎的な知識や技術を通して、自立した生活を支援していく上で必要な知識や技術を習得する。					
授業の到達目標					
■ 認知的領域	リハビリテーションの基本的な知識や技術について説明できる。				
■ 情意的領域	疾患別の対処法を理解し、医療や福祉の専門職として関わることができる。				
□ 技能表現的領域					
授業計画(全体)					
各授業、テーマに沿った資料を配布し進めていく。講義の一部では実技を交えた学習も取り入れる。					
授業計画(詳細)					
回	授業テーマとその内容				
1	[テーマ] オリエンテーション [内容] 授業テーマとその内容の解説を行う。	9	[テーマ] 疾患別のリハビリテーション(3) 精神疾患とリハビリテーション [内容] 代表的な精神疾患とリハビリテーションの関わりについて説明する		
2	[テーマ] リハビリテーションの歴史と発展 [内容] リハビリテーションの確立について説明する。	10	[テーマ] 疾患別のリハビリテーション(4) 内部疾患のリハビリテーション [内容] 代表的な内部疾患障害に対するリハビリテーションの関わりについて説明する。		
3	[テーマ] リハビリテーションの課程 [内容] 発症から退院までのリハビリテーションの関わりについて説明する。	11	[テーマ] リハビリテーションの実際(1) 病院 [内容] 病院におけるリハビリテーションの事例を紹介する。		
4	[テーマ] リハビリテーション専門職との連携 [内容] リハビリテーションに関わる様々な職種について説明する。	12	[テーマ] リハビリテーションの実際(2) 施設 [内容] 身体機能の維持を目的としたリハビリテーションの事例を紹介する。		
5	[テーマ] 運動障害(1) 肢体不自由 [内容] 身体機能の障害について説明する。	13	[テーマ] リハビリテーションの実際(3) 在宅 [内容] 在宅におけるリハビリテーションの介入事例を紹介する。		
6	[テーマ] 運動障害(2) 廃用症候群 [内容] 生活機能が不利用・不活発な状態になった場合、身体の影響について説明する。	14	[テーマ] リハビリテーションの実際(4) 介護予防 [内容] 介護予防を主目的としたリハビリテーションの介入事例を紹介する。		
7	[テーマ] 疾患別のリハビリテーション(1) 骨・関節疾患 [内容] 代表的な骨・関節疾患と、リハビリテーションの関わりについて説明する。	15	[テーマ] 試験または課題 [内容] 授業の理解度・到達度を確かめるために課題レポートの作成を行う。		
8	[テーマ] 疾患別のリハビリテーション(2) 脳血管障害のリハビリテーション [内容] 代表的な脳血管障害とリハビリテーションの関わりについて説明する。	16	[テーマ] まとめ [内容] レポート発表と学習内容のまとめ。		
授業外学習の指示等					
各授業、テーマに沿った資料を配布し進めていく。各講義の後半に小テストを行い、理解度・到達度を確認する。(配布された資料等をまとめるファイルを各自で用意すること)					
成績評価方法(方針)					
試験は期末試験を1回実施する(総合評価60%)。また、授業外レポート(20%)と、出席状況(20%)を課す。これらを総合的に判断して成績評価を行う。					
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	<ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の出席がない学生は、単位を履修することができない。 ・授業態度の悪い学生は退学させ、それ以降の講義への出席は認めない。 ・20分以上の遅刻は欠席とみなす。 ・授業中は携帯電話を鞆のなかに入れておくこと。 ・本シラバスを参考に、しっかりと予習・復習を行うこと。 ・毎週の授業参加だけでは、単位を取得できないことを理解しておくこと。 ・授業計画は、授業の進み具合によって、多少変更が生じる場合がある。
成績評価方法					
定期試験(期末試験)	◎			60%	
小テスト・授業内レポート					
授業外のレポート		◎		20%	
ポートフォリオ	◎				
出席			◎	20%	
その他					
関連科目					
教科書	配布資料にて解説	参考書	講義の中で随時紹介する		
連絡先	笠原研究室:F棟2階				